

# かささぎ



北京日本人学校  
学校通信第9号  
令和2年1月31日  
校長 栗本 和明



## 新年快乐



北京日本人学校 教頭 小川 裕子

新しい年が始まりました。3学期の始業式には充実した冬休みを過ごし、生き生きとした表情で登校してくる子ども達の姿があり、何とも嬉しい気持ちになりました。やはり学校は子ども達の声が聞こえないと寂しいものです。数日前に降った雪で覆われ真っ白だった校庭は、登校してすぐに子ども達の足跡でいっぱいになるほど元気に遊んでいました。



### 子どもの心に火をつける

左は、アメリカの教育学者ウィリアム・アーサー・ワードの言葉です。私が日本の教員研修で何度も何度も聞いた言葉です。「平凡な教師は言って聞かせる。よい教師は説明する。優秀な教師はやってみせる。しかし、最高の教師は子どもの心に火をつける。」という訳がっています。この言葉を聞く度、子

どものやる気を引き出すことが何よりも難しく、何よりも大切ということを思い出します。言って聞かせ、説明し、モデルを見せて形だけできるようになっても、それは本当に子ども達が生きていくための「力」とはなりません。子ども達が自ら求めて学ぶ、そのような「学び方を学ばせる」ことが何より大切なことなのだと感じます。自ら課題を見つける「学び方」を身に付けていないと、社会人になり自ら考え、学び、行動しなければならなくなった時に対応できなくなってしまいます。

なぜ今この言葉を思い出したかという、12月の福原愛さんの来校がきっかけです。特別授業を受けた子ども達が、福原さんの言葉をしっかりと受け止め自分に生かそうとする姿を目の当たりにしました。「愛ちゃんが言ったとおり、今日できないことが明日できるかもしれないから頑張る」「1日1cm進めば1年365cmも進むことができるから少しずつやってみる」という子ども達の言葉を聞いて、福原さんの発した言葉によって「子どもの心に火が付いた」ことを実感しました。もしかするといったん灯った火は、いつまでも燃え続けるものではないかもしれませんが。我々教師(大人)はその火を絶やさないように、火が小さくなった時、消えてしまったときにもすぐにまた灯すことができるよう、見守り、そして働きかけを続けていかねばならないと改めて強く思いました。



# 国際ドッジボール大会を終えて

## 低学年部

1月17日(金)に、本校の体育館で国際交流ドッジボール大会が開催されました。日本人学校・フランス人学校・ドイツ人学校・3eインターナショナルスクールの子も達が集まり、混合のチームを組んで交流をしました。試合では練習の成果を発揮し、1・2年生ともに素晴らしいプレーをすることができました。試合終了の合図が鳴ったときには、チームの皆と喜び合いました。試合の待ち時間には、授業で学んだ中国語や英語を使ってコミュニケーションをとろうとしたり、言語は分からないけど体を使って交流したり、様々な形で交流をする姿が見られました。今回の経験をきっかけに、これからもたくさんの人と仲よくできる子ども達に育ってほしいと思います。今年度も充実したドッジボール大会となりました。



# たてわり班活動を振り返って

## 小中連携部

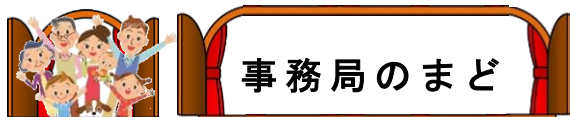
「この学校は、たてわり班活動を通して、小学部1年生から中学部3年生まで仲の良い学校です。」ここに赴任してきた年の4月。当時の生徒会代表が対面式で言った言葉です。小学生と中学生が同じ校舎にいる学校で過ごしたことがなかった私にとっては、とても印象的な言葉でした。あれから数年経ちましたが、毎日の学校生活で、本当にこの言葉通りだなあと感じる事が多くあります。教室移動時に、違う学年同士が笑顔で手を振り合っている。昼休みに校庭に出ると、小学生が中学生と一緒に遊んでいる...



全校遠足や運動会などの行事で絆を深め、日々のたてわり班清掃やたてわり班昼食会で、さらに互いを知り、少しずつ班の仲を深めているのが分かります。子ども達は、自分の学年の役割を考えながら、様々な年齢の友だちとの関わり方を日々学んでいるようです。今年度は、3月3日のたてわり班解散昼食会が最後の活動となります。気持ちよく1年の活動を締めくくることができるよう、日々のたてわり班活動を大切にしていきたいと思います。

# たてわりは何人？

小学部			令和2年1月31日現在				
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	9	11	20	4-1	10	11	21
1-2	9	11	20	4-2	9	10	19
1-3	9	9	18	5-1	15	11	26
2-1	11	10	21	5-2	15	12	27
2-2	11	9	20	6-1	9	8	17
3-1	8	13	21	6-2	10	8	18
3-2	9	12	21	小総計	134	135	269
中学部							
1-1	9	7	16	3-1	14	8	22
1-2	8	8	16	中総計	39	35	74
2-1	8	12	20	総合計	173	170	343



## 事務局のまど

2学期終業式前日の12月19日下校時刻のあと、教職員総出で校内の不要物の廃棄を行いました。以前授業で使用していたスケート靴をはじめ、修理不能な椅子、古すぎてインクが手に入らない型落ちプリンター等々、活用できないものを整理したことで、校内は明るくなった印象です。

時代につれ、学校で必要なものにも変遷があり、機器も進化します。備品や教材類については、その時々に必要なものはきちんとカバーしながらも、無駄を省きコスト意識をもって整備を進めたいと思います。

(事務局 倉片)